

令和7年度 事業報告

令和7年度の熊野市シルバー人材センター事業運営につきましては、自主・自立、共働・共助」の基本理念の基、会員自らが「生涯現役」として地域社会の活力を支える担い手となり、元気に活動し、地域社会に貢献するセンター運営を目指して、会員と役職員が一丸となってこの1年間活動を進めてまいりました。

組織運営では、定時総会を通常通りに開催し役員改選において外部理事、外部監事の導入を図りました。また、理事会についても、予定どおりに開催することができました。

会員の拡大については、定年延長、再雇用制度などの拡充により新しい会員を増やすことが難しい状況になってきている中、「一人一会員入会運動」の推進や日々の入会相談の実施、シルバーだよりや広報くまの等の媒体を通じて入会促進に取り組んだ結果21名に入会していただきました。

就業機会の開拓と提供については、未就業会員の就業促進、一会員一仕事の紹介運動に取り組みましたが、繁忙期に草刈り、剪定作業等に従事する会員が少なく、また猛暑により会員が体調を崩すなどして、個人、民間事業所、官公庁等からのすべての受注に対応することができず、受注件数、契約金額の減少となってしまう就業の拡大につなげることができませんでした。

安全・適正就業については、「安全はすべてに優先する」ことを基本に据え、会員の就業時及び就業途上の事故防止や熱中症予防など健康意識の高揚と周知徹底に取り組みました。本年度は、草刈作業中に蜂に刺された傷害事故が1件、草刈り作業中に水道管の破損や飛び石により軽自動車の窓を破損など賠償事故が4件発生しました。

適正就業では、国の適正就業ガイドラインを遵守するとともに、「適正就業基準に関する要綱」に基づき会員に対し安全で公平な就業の機会の提供に努めました。

センターの財務運営では限られた財源の中で、事務の効率化と経費の節減等を徹底し、健全なセンター運営に努めました。

令和7年度に実施した主な事業と概要について次のとおり報告します。

1 組織体制の強化

(1) 理事会の開催

センター事業運営の中核である理事会（理事7名、監事2名）を開催し、情報の収集や現状把握の上に立った方針の決定や計画立案等の討議を重ね、業務遂行に努めました。

	開催日	協 議 内 容
第1回理事会	4月24日	① 令和6年度事業報告の承認について ② 令和6年度収支決算の承認について 監査報告 ③ 令和7年度定時総会の招集（案）の承認について
第2回理事会	5月31日	① 代表理事の選定について ② 常務理事の選定について
第3回理事会	9月26日	① 報告事項 ② 職員給与規程の改正（案）について ③ 令和7年度第1次収支補正予算（案）について ④ 利用料金の見直しについて ⑤ 令和7年度「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」による「シルバーの日」のボランティア活動及び普及啓発活動の実施について
第4回理事会	3月24日	① 報告事項 ② 令和7年度第2次収支補正予算（案）について ③ 令和8年度事業計画（案）について ④ 令和8年度収支予算（案）について ⑤ 役員賠償責任保険の加入について

(2) 定時総会の開催

定時総会は、一人でも多くの会員に参加していただき、センター事業運営について情報共有し、会員の意思が反映できる唯一の機会であります。来賓を招き通常通りの開催案内をし、会員20名の出席があり、委任状提出は46名でした。

開催日	場 所	内 容
5月31日	くまのふれあいセンター	議 事 ① 令和6年度事業報告の承認について ② 令和6年度収支決算報告の承認について 監査報告 ③ 役員の選任について 報告事項 ① 令和6年度収支補正予算について ② 令和7年度事業計画について ③ 令和7年度収支予算について

(3) 諸会議・研修会等

諸会議、研修会等については、パソコンを使用したリモートシステム（Zoom）等により参加をしました。

月 日	内 容	備 考
5月16日	第1回事務局長会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
6月17日	県シ連令和7年度定時総会	津市 （欠席） 県総合文化センター
7月11日	第2回事務局長会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
8月19日	新たな契約方法勉強会に参加（オンライン）	熊野市 SC 事務所
8月25日	第1回人事労務関係事務担当者研修会に参加（オンライン）	熊野市 SC 事務所
9月8日	会員拡大・就業開拓担当者会議に参加（オンライン）	熊野市 SC 事務所
9月17日	第2回人事労務関係事務担当者研修会（オンライン）	熊野市 SC 事務所
10月7日	会報（シルバーみえ）編集委員会（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所
10月17日	経理事務担当者会議（Zoom 会議）	熊野市 SC 事務所

10月22日	安全・適正就業パトロール	尾鷲市
11月5日	第3回事務局長会議（Zoom会議）	熊野市 SC 事務所
11月17日	三重労働局・三重県・三重県シルバー人材センター立入検査	熊野市 SC 事務所
2月5日	熊野市電子契約に関する説明会（Zoom会議）	熊野市 SC 事務所
2月24・26日	安全就業指導員会議（オンライン）	熊野市 SC 事務所
3月3日	第4回事務局長会議（Zoom会議）	熊野市 SC 事務所

（４）運営体制の充実

熊野市シルバー人材センターの運営体制の充実を図るために、行政委員を務めるなど識見のある方を外部理事に、また金融機関に勤め支店長、本部長さらに理事を務められた方を外部監事にそれぞれ選任し、公益法人として透明性の向上に努めた。

２ 会員の拡大

（１）熊野市の総人口（令和８年３月末現在）は、１４，３４５人（男性 ６，６４３人、女性 ７，７０２人）で、その内、６０歳以上の人口は、７，５８０人（男性 ３，２４９人、女性 ４，３３１人）、人口に占める割合は約 ５２．８４％となっていますが、会員数の割合はわずか約 １．４１％の状況です。

（２）会員数（令和８年３月末現在）は１０７名で、年度内に加入した会員は２１名、退会及び資格喪失による会員は９名で１２名の増になりました。

入会した２１名の会員の理由につきましては、生きがい・社会参加５名、健康維持５名、時間的余裕４名、経済的５名、仲間づくり２名でした。

また、退会及び資格喪失会員９名の理由につきましては、病気等の健康上の理由２名、その他で就業２名、加齢２名、その他３名でした。

（３）会員構成では、６５歳以上６９歳以下が最も多く ２９．９％、続いて ７０歳以上 ７４歳以下は ２７．１％、７５歳以上 ７９歳以下は ２６．２％の順となっています。会員の高齢化が進む中であって、６０代の新規会員が多く入会した結果が表れています。

（４）会員の平均年齢では男性 ７２．９歳、女性 ７２．８歳、全体で ７２．８歳となっていて、これは前年度と比較して男女ともほとんど変わらず、全体の平均は前年度と同じとなっています。

最高年齢の会員は男性で ８８歳、女性 ８５歳となっています。

（５）「一人一会員入会」運動の推進や入会相談を事務所において随時行ってまいりました。また、三重県シルバー人材センター連合会による会員募集の広報活動や広報くまの等

への会員の募集についての広報をしたことにより、電話による問い合わせなどがあり、新規の入会につなげることができ、12名の純増となりました。

<会員数>

性別 \ 期間	年度当初	動 向		7 年度末日	増 減
		入会	退会		
男	70	15	6	79	9
女	25	6	3	28	3
計	95	21	9	107	12

<会員構成>

性別 \ 区分	60 ～ 64 歳	65 ～ 69 歳	70 ～ 74 歳	75 ～ 79 歳	80 歳 以上	計	比率 (%)
男	3	21	24	22	9	79	73.8
女	1	11	5	6	5	28	26.2
計	4	32	29	28	14	107	100
比率 (%)	3.7	29.9	27.1	26.2	13.1	100	—

3 就業機会の開拓と提供

- (1) 令和7年度の全体の契約件数は、753件で前年度より90件少なく、その主な要因は会員不足により繁忙期に草刈り、草抜き、剪定等の作業を請け負う会員が不足していたことによるものです。一方、受注契約金額については利用料の値上げもあり、前年度より24,717円の減少となっています。
- (2) 就業機会の提供の指標となる就業率は69.2%で、前年度より15ポイント下回りました。未就業会員に対しては電話等で仕事の照会も行うなど、できるだけ未就業会員の減少に努めました。

○令和7年度請負契約件数、契約金額等

区分 月	契約 件数	就業人数		契約金額 (単位：円)		
		実人員 (累計)	延人員	公 共	民 間	合 計
4	48	47	311	648,728	950,192	1,598,920
5	58	57	398	896,904	1,426,714	2,323,618
6	78	63	487	1,079,993	1,874,510	2,954,503
7	98	66	587	1,570,997	1,942,150	3,513,147
8	60	67	383	811,421	1,566,076	2,377,497
9	81	67	496	1,032,861	1,783,444	2,816,305
10	73	68	467	1,401,454	1,778,566	3,180,020

区分 月	契約 件数	就業人数		契約金額（単位：円）		
		実人員 (累計)	延人員	公 共	民 間	合 計
11	96	70	504	839,071	2,380,660	3,219,731
12	92	71	467	902,248	2,098,906	3,001,154
1	34	73	382	832,717	1,499,035	2,331,752
2	18	73	298	783,328	895,231	1,678,559
3	17	74	313	694,293	877,099	1,571,392
合計	753 (843)	—	5,093 (5,392)	11,494,015 (11,239,613)	19,072,583 (19,351,702)	30,566,598 (30,591,315)
差	△90	—	△299	254,402	△279,119	△24,717

(注) ① 表中()内は前年度実績

② 公共：民間＝37.6：62.4（％）

4 安全・適正就業の推進と徹底

- (1) 安全就業については事故ゼロを目指して会員の安全意識を高めていただくためにシルバーだより、チラシ等により周知を行い、センターが受注した請負業務については会員一人一人が安全に就業していただけるように心掛けて取り組んでまいりました。
- (2) 作業中による事故の発生件数については、重篤事故の発生はありませんでしたが、草刈作業中に蜂に刺される傷害事故1件、草刈り作業中に水道管破損と飛び石による車の窓ガラス破損等の賠償事故4件が発生しました。事故を未然に防ぐことができたケースもあり、会員への一層の周知徹底が必要です。

○傷害及び賠償事故発生状況

年度	傷害事故	賠償事故	合計
平成25年度	2	6	8
26年度	4	4	8
27年度	1	2	3
28年度	3	2	5
29年度	3	1	4
30年度	2	2	4
令和元年度	2	0	2
2年度	1	1	2
3年度	4	0	4
4年度	2	5	7
5年度	2	2	4
6年度	1	2	3
7年度	1	4	5

- (3) 安全・適正就業委員会を開催し、事故発生状況を説明しながら防止策等について議論を行いました。
- (4) 適正就業については、「適正就業基準に関する要綱」に基づき、一人の会員に仕事が偏らないようにワークシェアリングを推進して、会員の希望に応じてできるだけ平等に仕事を振り分けるよう取り組みました。

5 普及啓発活動

(1) シルバー人材センター事業普及・啓発活動

「シルバー人材センター事業普及啓発促進月間」における「シルバーの日」のボランティア活動については、シルバー人材センター事業を広く市民にアピールし、事業の社会的意義を高めるとともに、会員相互の交流の輪を広げることを目的に、10月25日土曜日に山崎運動公園において草刈り・剪定・草抜き等の奉仕作業を計画しましたが、雨天のため中止しました。

市内全域への啓発活動として「広報くまの」への記事の掲載やポスターの掲示等の普及啓発活動を行いました。

(2) 「熊野シルバーだより」の発行

会員の皆様に読み親しまれる広報紙として、年2回（7月・10月）発行しました。引き続き、より充実した内容の「熊野シルバーだより」の発行を目指してまいります。